



かがやき

「探究心に富み しなやかで たくましい生徒の育成」

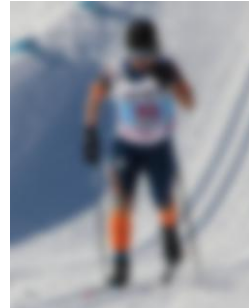
下条中学校だより
令和8年3月2日

全中スキー大会と新人スキー大会

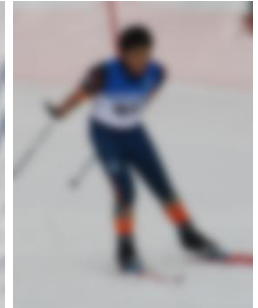
第63回全国中学校スキー大会（クロスカン트리スキー）が、2月3日（火）から6日（金）にかけて野沢温泉スキー場南原クロスカンントリーコースで開催されました。当校からは3年生のN、Mさんが出場しました。大会期間中はよい天候でしたが、慣れないコースや雪質に苦労したのではないかと思います。緊張しながらも今までの練習の成果を出し切ろうとレースに挑んでいました。

四市二郡中学校新人クロスカンントリースキー大会が、2月13日（金）に吉田クロスカンントリー競技場で開催されました。年々選手が減少している中ではありましたが、最後の新人戦ということで選手のご家族を中心に多くの方々から応援に駆け付けていただきました。

下条ジュニアクロスカンントリークラブ（JXC）の保護者の皆様や地域の皆様からは、オフシーズンから温かなご指導とご支援をいただきました。ありがとうございました。



全中スキー大会



新人スキー大会

1・2年生の雪像づくり

十日町雪まつりに向けて、2月19日（木）と20日（金）に「いなかの広場」（十日町市利雪親雪総合センター）で雪像づくりを行いました。今年度話題になった大阪・関西万博の公式キャラクターのミャクミャクを、実行委員会が中心になって1・2生全員で作成しました。雪を固めるところから始め、細部を削って形を整えるところまで、スコップや移植ごてなどを使って作業を進めました。雪像を完成させたときの生徒の表情には、みんなで力を合わせて作り上げた達成感が表れていました。



雪像の成形作業

3年生、下条天神ばやしを学ぶ

2月19日（木）、下条天神ばやし保存会の皆様にご来校いただき、3年生を対象に下条天神ばやしについてご指導いただきました。下条天神ばやしは今から約600年前から唄われている祝い唄で、蒲原地方から魚沼地方に伝わった作業唄から始まったという説や伊豆か大島の祝い唄が発祥だとする説などがあるそうです。長い歴史の中で唄い継がれていくうちに、同じ魚沼地方でも違いが生じてきたそうです。下条天神ばやしの「天神」は、原村の天満宮を指しているといわれています。原村の天満宮は下条小学校の校歌にも歌われており、生徒にとっては下条天神ばやしに身近に感じられた要素の一つだったかもしれません。唄う体験では、始めは慣れない節回しに戸惑っていたものの、少しずつ自信をもって大きな声で唄えるようになり、解散後に仲間同士で口ずさんでいた生徒もいたようです。楽しくご指導いただきました下条天神ばやし保存会の皆様、誠にありがとうございました。数十年後、今度は生徒たちが教える立場になって地域の伝統を次の世代につないでくれるものと期待しています。



下条天神ばやしを初めて唄ってみました

3月の主な予定

3（火）	同窓会入会式	12（木）	公立高校合格発表
4（水）	公立高校一般選抜学力検査	18（水）	1年生新保広大寺節披露会
6（金）	第79回卒業証書授与式	19（木）	生徒会専門委員会
9（月）	2学年PTA	23（月）	3学期終業式
10（火）	6年生体験入学、PTA総務委員会	25（水）	離任式
11（水）	1・2年生スキー授業		